



「ふくしまの森・復興大会」では、南相馬市鹿島区  
北海老の海岸で、クロマツ約2000本が植樹された



植樹では、深さ約20cmの穴を開け、そ  
こに約40cmのクロマツを手植える

東日本大震災からの  
復旧・復興に向けて

aff <sup>あふ</sup> June 2014  
平成26年6月1日発行  
(毎月1日発行)  
agriculture + forestry + fisheries CONTENTS

- 2 「食育月間」スペシャル座談会  
今、本当に必要な  
「食育」ってなんだろう？  
林農水産大臣×榎原郁恵さん×  
馬淵知子さん コーディネーター／清絢さん
- 6 東日本大震災からの復旧・復興に向けて  
海岸防災林の再生／林野庁
- 8 特集1  
みんなで広げよう！食育活動
- 18 チャレンジアーズ トップランナーの軌跡  
石川県 株式会社六星
- 20 MAFF TOPICS  
○日本に病気・害虫を侵入させない！  
植物防疫官のお仕事  
○第12回オーライ！  
ニッポン大賞を募集中！
- 23 読者の声／  
農林水産省フェイスブック  
今月の「いいね！」がいっぱい！

※特集2「味わい ふれあい 出会い旅」は、誌面の都合により休  
載します。次号7月号にて掲載予定です。

表紙：天野の里（和歌山県伊都郡かつらぎ町）  
写真提供：伊藤忠商事株式会社

広報誌『aff（あふ）』について  
農林水産省や農山漁村は、食料の安定供給はもちろんのこと、国土や自然環境の保全、良好な景観の形成などの多面的機能の発揮を通じ、国民の皆さまの毎日の生活において重要な役割を担っております。また、農林水産省は、生産などの現場に密着したものであると同時に、毎日の生活に深く関わっています。農林水産省では「aff」を通じ、農林水産省における先駆的な取り組みや農山漁村の魅力、食卓や消費の現状などを紹介しております。

ホームページのご案内

「aff」は、農林水産省のホームページでも  
ご覧になれます。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/aff/>

■編集・発行 農林水産省大臣官房総務課広報室  
〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1  
TEL.03-3502-8111 (代表) FAX.03-3502-8766  
<http://www.maff.go.jp/>

■編集協力 一般社団法人家の光協会  
〒162-8448 東京都新宿区市谷谷河原町11  
TEL.03-3266-9045 FAX.03-3266-9046  
<http://www.ienuhikari.net>

メールマガジンのご案内

大臣メッセージや施策の紹介、イベント情報などをお届けする「農林水産省メールマガジン」を毎週金曜日に発行しております。ぜひご登録ください。無料です。  
<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

フェイスブック・ツイッターのご案内

フェイスブック <https://www.facebook.com/maffjapan>

ツイッター [https://twitter.com/MAFF\\_JAPAN](https://twitter.com/MAFF_JAPAN)

本誌に掲載した論文などで、意見にわたる部分は、  
それぞれ筆者の個人的見解であることをお断りします。

# ボランティア団体や地域住民も参加 津波で被災した「海岸防災林」 約140kmを再生中！

林野庁



クロマツの種を取り寄せ、「潮除須賀松林」の  
造成を進めたといわれます。その後、国や  
県による整備や、地域の人々の自発的な植林  
が進められ、日本各地に海岸防災林が造成さ  
れました。  
しかし、平成23年3月、東日本大震災によ  
る津波で、青森県から千葉県にわたって海岸  
防災林が広範囲に被災し、その総延長は約  
140kmにもおよびました。

林野庁では、被災した海岸防災林を再生す  
るため、植栽を約10年間で完了させることを  
目標として事業を進めています。

震災後の調査では、海岸防災林が船舶など  
の漂流物を食い止めた例など、津波による被害  
を軽減する効果を持つことが確認されました。  
一方、土地が低く地下水位が高い箇所では、  
本来は深くまで伸びるはずのクロマツの根が

## 数百年かけて育まれてきた クロマツ林が、一瞬にして消失

海岸の森林が塩害や飛砂を防ぐことは古く  
から知られており、すでに戦国〜江戸時代に  
は海岸防災林の造成が行われていました。仙  
台湾沿岸では、伊達政宗が遠州（静岡県）から

十分に育たず、津波の際に根こそぎ流されて  
しまうので、防災機能が低いことも明らか  
になりました。このため今回の再生事業では、  
樹木がしっかりと根を張れるよう盛土し、植  
栽を行っています。

## 「海岸防災林再生等復興支援事業」で、 企業やボランティア団体の参加を促進

林野庁および関係県では、再生する海岸防  
災林の植栽などに企業やボランティア団体、  
地域住民にも参加いただく取り組みを進めて  
います。

この取り組みへの参加を促進するため、平  
成25年度に、「海岸防災林再生等復興支援事  
業」がスタートしました。この事業では、参  
加団体の募集や海岸林での植栽技術に関する  
情報提供、ボランティア団体と資金提供企業  
のマッチングなど、再生へ参加する方々のサ  
ポートを行っています。

支援事業を実施する国土緑化推進機構の岩  
佐正行さんは、「参加するみなさまが抱えてい

る様々な悩みに応えていければと思います。  
昨年11月に、ポータルサイト『海岸林再生  
Navi』を開設したので、こちらもぜひ活  
用してください」と話していました。

同じく支援事業を実施している福島県森  
林・林業・緑化協会では、支援の一環として、  
本年3月に、南相馬市で「ふくしまの森・復  
興大会」を開催しました。根本復興大臣も参  
加し、県内外から集まった350人のボラン  
ティアがクロマツの植樹を行いました。

被災した海岸防災林を復活させ、人々の暮  
らしを守るためにも、より多くのボランティア  
団体や地域住民の参加が期待されています。

## 海岸防災林再生事業への参加に関する情報は ポータルサイト「海岸林再生Navi」から！

<http://kaiganrin.jp/>



国土緑化推進機構が開設した本サイトでは、海岸防災林の再  
生に参加する団体・個人に対して、各種の情報提供を行って  
います。参加を考えているみなさまは、ぜひご利用ください。